

## 令和7(2025)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 TOEFL成績提出要項

令和7(2025)年度入試（令和6(2024)年度実施）志願者は、下記に従い、TOEFL iBT/TOEFL iBT Home Edition/TOEFL iBT Paper Editionのスコアを提出してください。

※MyBest™ scoresは採用いたしません。

※本学の修士課程を修了（または修了見込み）の者が博士後期課程へ出願する場合、TOEFLスコアの提出が免除される場合があります。詳細は各専攻入試案内書を参照してください。

※母国語が英語である志願者でもTOEFLスコアの提出は必要です。

※スコアが期限までに大学に届いているかどうかを志願者自身で確認する方法はありません。スコアレポートデータ本研究科到着期限（p.2参照）までに情報理工学系研究科入試担当がデータを確認できなかった場合には、願書に記載されたメールアドレス宛てにメールにて連絡します。スコア受理状況に関する個別のお問い合わせには対応いたしかねますのでご了承ください。

### 【TOEFL iBTスコア提出方法】

- 1 出願期限までに、TOEFL iBTのスコアを取得（=ETSアカウント上で自分のスコアを確認できる状態となること）してください。P.2のスコア有効期間に注意してください。

ETS Japan 合同会社のウェブページによると（2023年12月現在）、受験日から4～8日後にETSアカウント上で自分のスコアを確認できる状態となります。ただし便宜上、提出されるスコアの受験日がp.2のスコア有効期間に収まっていれば、出願期限までにスコアを取得できていたものとして受理します。

試験時のネットワークトラブルや音声トラブル等により、再受験が必要となるケースや、スコア開示に1か月以上時間がかかるケース等がありますので、早めに受験してください。特にTOEFL iBT Home Editionについては、試験当日に何らかの原因により受験が認められなくなるケースが珍しくないようですので注意してください。

- 2 提出するスコアレポートについて、下記「TOEFL iBTスコア送付先」に届くよう受験申込の際に手配してください。受験申込の際に送付手続きをとっていなかった場合は、出願期限までに速やかに送付手続きをとってください。

この手続きが完了しており、試験自体にも問題がなかった場合は、受験後約2週間程度で当研究科でもオンライン上でスコアデータを確認することができます。このデータが確認できた時点でスコアの受理とします。

- ※ 複数回受験した場合、それらについて全て送付手続きをとっておくことについては問題ありません。その場合は④で入学願書に 記載されたAppointment Number・受験日のスコアのみが出願書類として受理されます。

#### TOEFL iBTスコア送付先:

- Name of Institution : University of Tokyo IS&T
- Address : University of Tokyo, Graduate School of Information Science and Technology  
7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8656 Japan
- Institution Code : 8445
- Division : Graduate Organization
- Department Code : 99 (Any Department Not Listed)

3 送付先に間違いがないか、送付手続きが確かに完了しているか、確認してください。

4 「入学願書作成入力フォーム」から入学願書を作成する際、提出するスコアレポートのAppointment Numberと受験日を入力してください。

#### <各種期限>

	夏入試	冬入試
TOEFL iBTスコア有効期間	受験日が2022年9月1日から 夏入試出願期限まで	受験日が2023年3月1日から 冬入試出願期限まで
TOEFL iBTスコア取得期限	夏入試出願期限まで	冬入試出願期限まで
TOEFL iBTスコアレポートデータ本研究科到着期限	2024年7月8日	2024年12月11日

#### 【TOEFL iBTスコア提出における注意】

- 提出するTOEFLスコアの出願後の変更は原則認めません。また、以下の場合は原則としてTOEFL成績提出が無効とされ、外国語試験採点の対象とされません。
  - ① スコアレポートデータ本研究科到着期限までに情報理工学系研究科入試担当がデータを確認できなかった場合
  - ② 提出されたスコアが適切でない場合
- TOEFL成績提出が無効とされた場合、夏入試における一般教育科目（数学またはプログラミング）の受験資格は失いますが、専門科目、口述試験等の受験資格を失うかどうかは専攻事務室に確認してください。